

樹をよみがえらせる匠(樹木医)^{たくみ}

にししかざわ
山崎町西鹿沢
だんばやし ひろいち
段林 弘一さん(75歳)



質問 樹木医になろうと思われたきっかけはなんですか？

返答 昔、但馬の(林業)試験場にいたころの上司が、「木のお医者さんになりたい」と言われてましてね。でも退職後、夢をはたせないまま亡くなられて…。そんなこともあって、私も定年退職後、平成5年に樹木医の資格をとったんです。

質問 樹木医になられて「よかった」と実感されるときは？

返答 やっぱり木が元気になってくれるとやりがいになりますよ。でもね、治療後も、雨が降れば足を運び、雪が降ればまた行き、晴れば晴れたて行き…と、ずっと気になりますね。

質問 相生市の樹齢二百年「ムクノキ」、大屋町の樹齢千年「樽見の大桜」など、県内外でも数々の樹木を治療されていますが、宍粟市内では？

返答 「樽見の大桜」を始めて見た時、「いったいどうしようか」と、当時、7人の樹木医で本当に頭をかかえましてね。相当痛んでましたから。咲いた時は本当にうれしかったですよ。山崎の大歳神社の千年藤も今年少し治療を施したんですよ。一宮の御形神社の正福寺桜も以前治療しました。安積の力や、深河谷にある池王神社のアカガシや、千町のミズラナは傷んで気になってるんです。宍粟にも大分手をいれないといけない古い木がありますね。

質問 仕事以外の出かけ先でも、木が気になりますか？

返答 そりゃ〜気になりますね(笑)。泣いているな〜とかねえ。あるでしょ？赤穂の御崎公園の桜は、去年の秋に調べたんですけど下の方が枯れてしまってたね。また、以前調査した旧南光町のしだれ桜の土が悪くて根がやられてましてね。

質問 他に生きがいやご趣味は？

返答 無趣味なもんでね(笑)。一度書きかけて止めていた「宍粟郡の林業史」を校正中です。あと、保健センターの料理教室に2年間通ってます。毎月1回あってね。一人やからね。カロリーも気にしないとダメです。畑もあるんですが、葉っぱばかり作って食ってます(笑)。けど、これがようけでき過ぎてしもて。周りに「食べて」と配る始末です。

質問 最後に一言お願いします。

返答 古い木を見ていると「お前らも長生きせ〜よ」と言ってくれているような気がします。なんとなく。木は、ものは言わへんけどね、わかるんです。庭木にも必ず兆候があります。木のサインを見ることです。



治療前 樽見の大桜



治療後 樽見の大桜



木の皮を剥ぐ「耳かき」や木を叩くものなど使いやすく加工されたオーダー道具



昨年落雷にあった一宮町安積の力やの古木も今年治療の予定

※平成16年から兵庫県樹木医会の会長に就任。樹木医として14年、患者(木)の声にやさしく耳を傾けながら、聴診器ならぬ道具と方法で診断・治療される姿はお医者さんそのもの。これからもご活躍をお祈りしています。(山崎支部 春名豊滋)

●当広報紙に掲載している氏名及び写真等については本人の承諾を得て掲載しています。

こんにちは!

社協です!! No.23 2007年5月15日発行